

大樹立



函南町教育委員会 生涯学習課
〒419-0122 函南町上沢 81 函南町文化センター（電話：979-1733 FAX：979-1744）

チャレンジ大学第3回・第4回学習会を開催

チャレンジ大学は多岐な分野にわたって、楽しく学ぶ全7回の講座です。このほど、文化センター多目的ホールで第3回・第4回学習会が行われました。第3回は、荒川章二さん（静岡大学名誉教授・国立歴史民俗博物館名誉教授）を講師に招き、「狩野川放水路の近代史―明治から戦後まで―」をテーマに学習会が行われました。学習会には100人が参加し、「狩野川台風があつて放水路ができたと思つていただけ違った」「多くの人たちの力があつて放水路ができたことがわかつた」「完成までにこれほど長い歴史があつたとは知らなかつた」などの声が聞こえました。第4回は、月光天文台から蒔田裕成さん、永田祐基さんを講師に招き、「星の世界を楽しもう―天体が見せる多様な姿―」をテーマに学習会が行われました。

学習会には116人が参加し、「知らないことばかりで楽しく学ぶことができた」「今夜は星を見たいと思う」などの声が聞こえました。

わいわい塾 富士山について学ぶ

わいわい塾もの作り教室では児童が月に1回工作や体験活動をしています。8月、9月のわいわい塾では、2回にわたり富士山について学びました。8月は、富士山世界遺産センターから講師を招き、富士山の歴史、大きさやダイヤモンド富士やパール富士といった現象などの講義を受けました。その後習ったことを基に、児童は富士山とその周りに宝石や生息する動物などを描き、オリジナルの富士山の絵を完成させ、富士山への親しみを深めました。9月は、8月に習ったことをいかし、富士山世界遺産センターに社会科見学に出かけました。児童は映像

シアターや展示を見て、富士山の偉大さを実感していました。児童からは、「2回も富士山について学ぶことができて楽しかつた」「いつも富士山を見ているけど、知らなかつたことがいっぱい。富士山がより身近な存在になつた」などの声が聞こえ、富士山の魅力を再認識していました。



▲富士山遺産センターに出かけました

社会教育関係団体紹介 函南町子ども会連合会

今回は社会教育関係団体の中から、「函南町子ども会連合会」の活動をご紹介します。函南町子ども会連合会は青少年の健全育成のため、さまざまな活動を行っています。9月7日、農村改善センターで函南町子ども会連合会

チャレンジ大会を実施し、町内の小学1～小学2年生123人が参加しました。酪農王国オラッチェ職員の指導の受けてバター作りとアイスクリーム作りを体験しました。体験前には紙芝居で牛の生活や酪農による食育を学びました。子どもたちは真剣な表情で話を聞いていました。バター作りでは、一人ずつ瓶を一生懸命振り、形になつていくバターに目を輝かせながら取り組んでいました。アイスクリーム作りでは、グループの中で役割を交代しながら協力して楽しく作り、自分たちで作つたアイスクリームを仲間と一緒に「美味しい!」と笑顔で食べていました。



▲バター作りの様子

文芸散歩

一切の音圧倒し滝の落つ

コスモスのゆれあつてゐる散歩道

夜の長き姉と深くていい話

仏壇の供物をつまむ生身魂

秋祭り素人芸の上手下手

同姓の多き集落柿熟るる

石田 福子

犬飼 良助

小長井 なみ枝

齋藤 和久

鈴木 孝

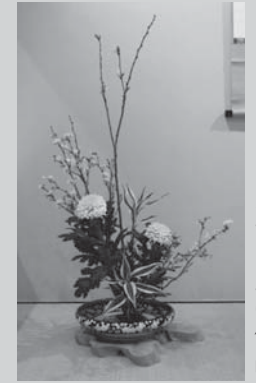
山田 幸次郎

〈樹の会〉

団体・活動紹介

函南町文化協会

伊豆半島でも多くの外国人を見かけるようになりました。オンラインピックも近づき、またジオパーク認定もあり伊豆に光が当たっているのでしょうか。ある日、花屋さんから「伊豆の旅館に連泊されている外国のお客様が、いけばな体験を希望しているのに対応してほしい」との依頼がありました。春でしたので桜、芍薬、菊などの花材と道具一式を用意して出向きました。お客様はメキシコからいらつしやつたホセさん兄妹でした。日本好きらしく浴衣を着て正座をして待つておられました。双方がカタコトで会話をしながら花をいけ、床の間に飾り、たくさんさんの写真を撮りました。最後にお泊りの部屋へ喜んで運んで行かれました。



▲ホセさんの作品

日本を訪れる外国人の人にとって、日本の文化や情緒を知つて楽しんでこそ思い出はより深いものになると思われまふ。いけばなだけでなく、生活の中の料理や育児、作法、スポーツなど帰国後も話題や実際に活用してもらうことで、日本を訪問してもらつ意義が深まるでしょう。いけばながこのような形で日本の良さを世界に知ってもらつツールとなるのは大変嬉しいことです。

問合せ先／小川 和子 (947-2128)

小川 和子